

# 中世

堀の南側で見つかった鎌倉時代の井戸は、底部に曲げ物を据えています。掘り形の直径、深さは共に2m程を測ります。埋土から井戸の部材である隅柱と横棧とみられる部材が出土しています。

戦国時代の溝は、東西方向に続く幅2m、深さ1mの規模をもち、形状と規模から堀としての機能があったと考えられます。断面は「V」字形で、埋没したのち、平らな石を等間隔に据えたとみられ、土地の境界を示した可能性があります。

堀から、京都産の土師器皿、中国製陶磁器類や茶の湯に使われる大和産の風炉などが出土しています。これらの遺物は丹後地域の集落で出土することは稀で、当遺跡の特殊性をうかがわせます。

さらに調査地の小字は、寺の厨房を意味する庫裡くりに通じる「栗ヶ奥」で、その南は「テンキョウジ」です。周辺に寺院に関連する小字名がみとめられることが注目されます。



写真5 底に曲げ物を据えた井戸



写真6 地境を示す可能性がある堀と石列

## まとめ

今回の調査では、南に開く谷部の緩やかな傾斜面において、縄文時代の流路や弥生時代中期、中世の生活遺構を確認しました。

弥生時代には、木組みの井戸や土器を転用した集水施設などの遺構と玉砥石や石斧の未製品などが出土していることから、管玉などの玉製品や石器を製作していたと推定されます。とくに、木組み井戸は、弥生時代中期のものとしては国内でも数例しかない資料で、高度な技術で作られたことがわかりました。

また、戦国時代の遺構群は、周辺から城館や寺院などで多くみられる風炉が出土していること、さらに寺に関わる小字名が周辺に確認されることから、中世寺院に関連する遺構の可能性があります。

# おい たい せい き 老田遺跡 第2次調査

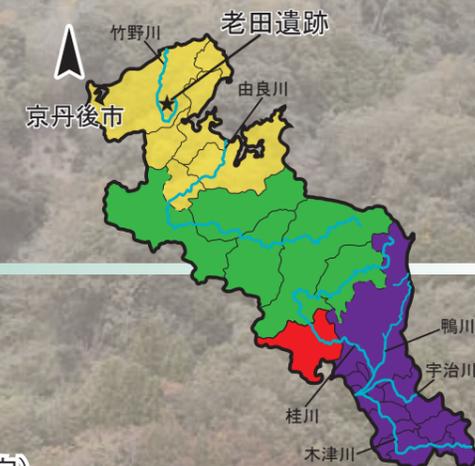
調査場所 京丹後市大宮町周枳地先

調査期間 第1次 令和4年11月9日～令和5年2月17日

第2次 令和5年7月1日～令和5年10月31日

第3次 令和6年5月7日～令和6年12月末(予定)

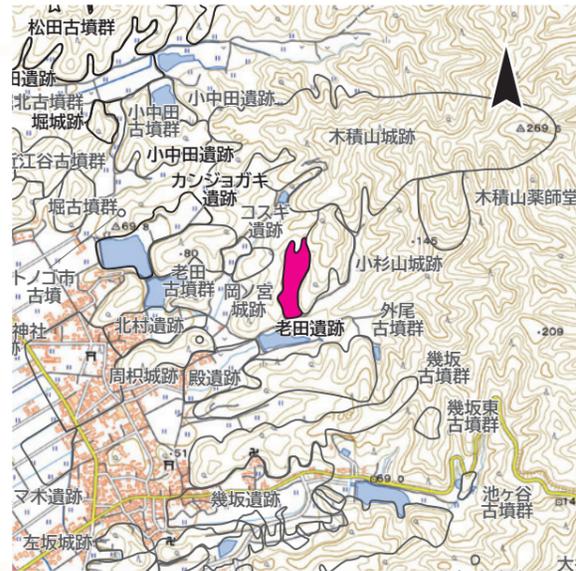
調査機関 公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター



## はじめに

調査は一般国道 312 号大宮峰山道路事業に伴い、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所の依頼を受けて実施しました。

老田遺跡は丹後半島中央部の中郡盆地を南から北へ流れる竹野川の東方に位置します。遺跡は丘陵地の谷部奥に形成されており、縄文時代から戦国時代に至る遺跡であることがわかりました。



第 1 図 調査地位置図 (S=1/25,000)

## 発掘調査の成果

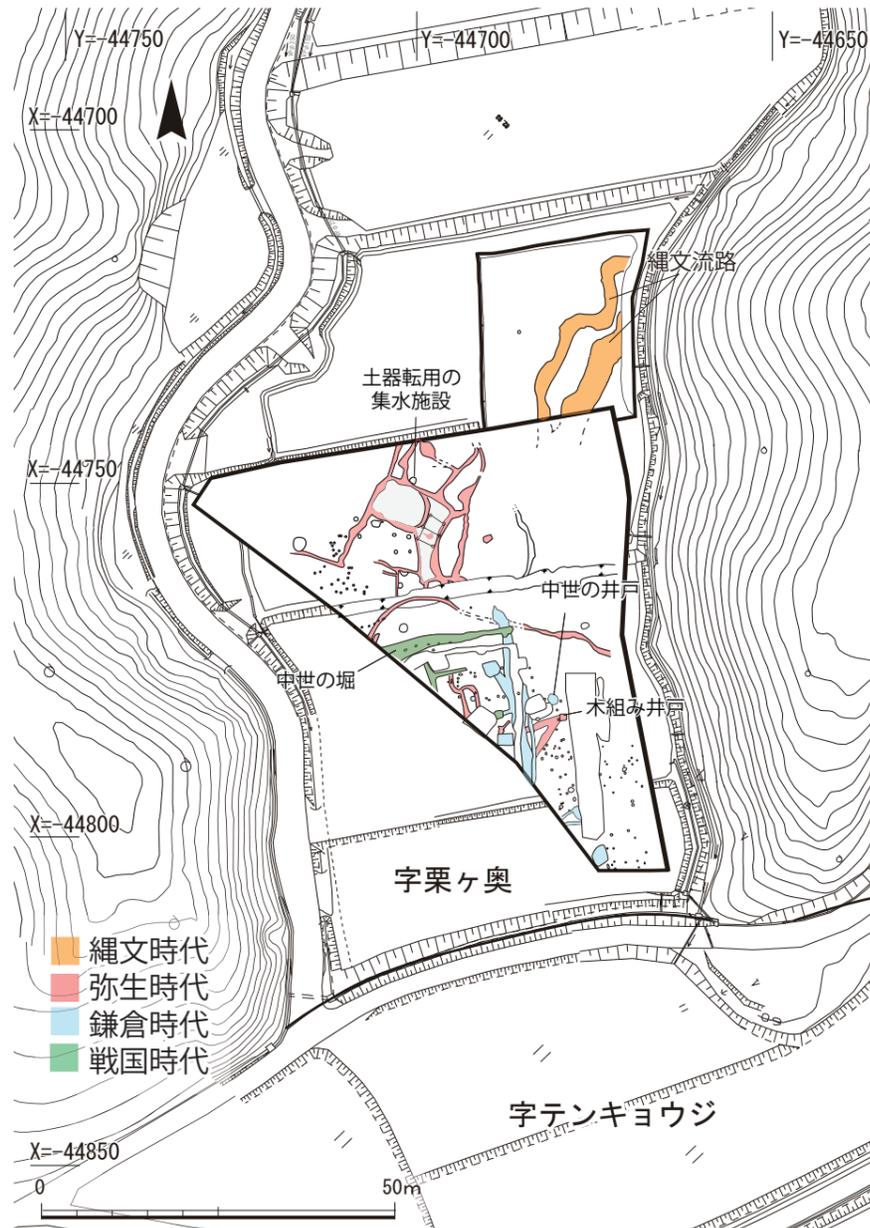
今回の調査では、縄文時代後期の流路や弥生時代中期・鎌倉時代・戦国時代の遺構と遺物を確認しました。

縄文時代の遺構は、調査地北東側で 2 条の流路を確認しました。

一方、弥生時代の遺構は、谷部の中央部を中心に確認しました。

弥生時代の遺構には縦板組みの井戸や土器を埋めて水溜めにした集水施設、柱穴や溝などがあります。遺物には土器類のほか、ふとがたはまぐりばせき 大型蛤刃石斧、へんぺいかたばせき たまといし 扁平片刃石斧、玉砥石などが出土し、網目状に掘削された溝には、多量の土器が廃棄されていました。

調査区の南側からは主に中世の遺構が見つかりました。幅 2 m を測る東西方向に続く断面 V 字形の堀や底に曲物を据え付けた井戸、柱穴のほか、土器などを捨てた土坑などが見つかっています。室町時代の遺物としては土師器皿や瓦質土器、中国製の青磁、金属製品や木製品が出土しています。



第 2 図 調査平面図 (S=1/1,000)

## 弥生時代



写真 1 縦板を打ち込んだ井戸



写真 2 弥生土器を水溜めにした集水施設

方形に組み込まれた縦板組みの井戸の上層からは多くの弥生時代中期の土器が出土しています。弥生時代中期の木組みの井戸としては近畿北部では初めて発見された極めて貴重な遺構です。

土器を水溜めにした集水施設は、地下水を取水するためのものです。底部と口縁部が除去された壺が地下水の湧く土坑に据えられ、たまった水を日常的に利用していたのでしょう。

玉砥石は玉類製作の工具の一つで主に製品を研磨するために用いられます。

砥石の中央には断面が「U」字形の溝が入っていることから管玉等を仕上げるために用いられていたと考えられます。



写真 3 玉砥石



写真 4 溝群から出土した土器

近代	江戸時代	
近世	安土桃山時代	中世の堀
	戦国時代	
	室町時代	
中世	南北朝時代	中世の井戸 中世の柱穴群
	鎌倉時代	
古代	平安時代	
	奈良時代	
	飛鳥時代	
古墳時代	後期	
	中期	
	前期	
弥生時代	後期	縦板組の井戸など
	中期	
	前期	
	晩期	
縄文時代	後期	2条の流路
	中期	
	前期	
	草創期	
旧石器時代		